

放課後等デイサービス 子どもクラブ
令和2年度 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 公表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制設備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		法令に従ったスペースは確保しているが、保護者からもっと広い方が嬉しいといった意見は出てきている。スペースを広げる事への対応は現段階で難しいが(引っ越しなど)、より多くの意見が出た場合、検討を行う必要があると考えている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			人員配置基準を満たす配置を行うだけでなく、子どもの人数に適したスタッフ配置を行うようにしていきたい
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	段差や手すり等、バリアフリーへの配慮が不十分な面は見られる為、対応出来る箇所から改善を行っていき、利用者への配慮もしっかりと行っていく(継続事項)
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		月に一回のスタッフミーティングや日頃の振り返り等で利用者に対する支援を見直しているが、ミーティングに参加出来なかったスタッフに対するの情報共有なども徹底していきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		アンケート調査で頂いた意向に対し、改善になかなか繋がれなかった箇所もある為、今後も出来るだけ対応して行く様努めて行く。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			昨年度から結果をホームページにて公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在第三者による外部評価は受けていない。必要に応じ検討していく。
	8	職員の資質の向上を行う為に、研修の機会を確保しているか			○	他の業務の兼ね合いで、現在研修の機会を確保できていないのが現状である。機会を作っていく。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			面談や日々の連絡帳や送迎時での申し送りなどで利用者の様子を把握し計画に繋げている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		アセスメントシートなどは標準化されたものを使用し、支援計画への材料として活用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			日々の活動やカリキュラムはスタッフミーティングや日々の業務中を通じて立案、見直しを行っており、出来るだけスタッフを関われる様にしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		利用者の様子や要望を交えて、必要に応じ工夫していく様に努めていきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			利用者の様子や状況を見て、楽しく過ごせる様に努めている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			各利用者の様子や特性等を考慮して対応を行い、計画に繋げている。

適切な支援の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		支援前に朝礼を行い、情報共有や確認を行っているが、時折十分に朝礼が出来ない事もある為、徹底していきたいと考えている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか			○	他の業務の兼ね合いで、次の業務に向かわなければならず振り返りを行えない事がある為、他の業務に支障が出ずに振り返りや共有が出来る体制を築いていきたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			サービス提供記録とは別に、各利用者に関して様子等をメモとして記載しており、そこから支援の検証・改善へと繋げている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に一度個別支援計画書を作成している。また、日々の連絡帳や送迎時の申し送りを通じて支援への見直しや改善を図っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか		○		基本活動の理解を深め、質の高い支援を行える様、勉強会や研修などの機会が設けられたらと考えている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			会議があった場合出来るだけ管理者や児童発達支援管理責任者が参加するようにしている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校と家庭と連携を行い、多角的に対応するように努めている。
	22	医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在医療的ケアを必要としている子どもの受け入れは行っていない。既存利用者に関しては主治医の聞き取りを行っていたり、てんかん発作や服薬の有無など障害や病気に対するの対応等把握している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	以前はやりとりがあったが、現在は機会が大きく少なくなってきた。現在は保護者との直接のやり取りが大半である。機会があれば是非関わりたいと思っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			他の制度についての説明を卒業する利用者に対しては随時説明しており、必要に応じての対応を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		機会を多く持てなかった為、出来るだけ取り組めるようにしていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか		○		地域の祭りに参加する等の機会はあるが、定期的に機会を持ってはいない。必要に応じ機会が持てる様にしたいと考えている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			地域の商店街会議に参加し、お祭りなどのイベントに参加しており、地域の一部として活動を行っている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日々の連絡帳や、送迎時の申し送り、電話連絡やメールのやり取り等を行い、常に密に情報共有、共通理解を持てるように努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	随時保護者に対しての相談や対応は行っているが、今後もより充実して対応出来る様にしていきたい。

保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行っており、更新時に変更があった際は説明を行う様努めている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があった際は、出来るだけの誠意を持って対応・支援を行っているよう努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在父母の会に関しては開催していない。多くの要望があった場合開催を検討したいと考えている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			責任者を設け、誠意を持って対応している様にしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	定期的な会報は現在発行していないが、月ごとのお知らせやイベントの紹介は行っている。要望があれば個人情報の観点から十分注意し、検討していきたい。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			鍵付書庫や事務室に鍵を付ける等対応は行っており、今後も十分に注意していきたい。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			各利用者の特性を配慮して支援している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	多くの機会は持っていないが、地域の祭りで子ども達の工作作品の展示会を行ったりしている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	マニュアルを作成し必要に応じ変更を行っているが、周知徹底に関しては不十分な面があり、徹底できるようにしていきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○	なかなか利用者を交えての訓練が行えていないが、今後は行える様にしていきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか			○	朝礼やミーティング、または張り紙を通じて意識してもらうようにしているが、研修に関しては機会が設けられていない。機会を持てるようにしていきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	基本的に身体拘束は行っていない。保護者との面談や連絡帳でのやり取り、送迎時の申し送り等で情報を共有し、常に必要とする支援を行える様に努めている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示書や保護者からの聞き取りを通じてリストを作成し、注意して対応を行っている。スタッフ全員にも周知するようにしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットが発生した際は、職員・スタッフ全員が情報共有出来るようにし、対策等を話すようにしている。